

平成 22 年 1 月 8 日

## 1・2号機サービス建屋における退出モニタの測定に関する不適合について

### <概要>

#### (事象の発生状況)

- ・ 平成 22 年 1 月 7 日、1・2号機サービス建屋において、管理区域から退出する際に放射能測定を行う退出モニタ 9 台のうち、1 台のモニタにおいて足裏の測定部に保護カバーが設置されていることを協力企業作業員が発見しました。
- ・ 確認の結果、当該モニタの定期点検にともない足裏の測定部に保護カバーを設置しておりましたが、点検終了後に保護カバーを撤去していませんでした。
- ・ そのため、当該モニタを通過した 7 名の足裏部の測定が正しく行われませんでした。

#### (今後の対応)

- ・ 原因について詳細に調査します。

#### (安全性、外部への影響)

- ・ 当該モニタで測定を行った退出者については、足裏以外の手、頭および体幹部については正常に測定されており、当該モニタ出入口の床面および保護カバー表面に放射性物質の付着がないことを確認したことから、足裏への放射性物質の付着はなかったものと考えております。
- ・ 本事象による外部への放射能の影響はありません。

#### (公表区分)

- ・ 本事象は公表区分「その他」ですが、透明性向上のためにお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

### 1. 事象の発生状況

平成 22 年 1 月 7 日午後 5 時 30 分頃、1・2号機サービス建屋\*<sup>1</sup>において、管理区域\*<sup>2</sup>から退出する際に放射能測定を行う退出モニタ 9 台のうち、1 台のモニタ（以下、当該モニタ）において足裏の測定部に保護カバーが設置されていることを協力企業作業員が発見しました。

確認の結果、当該モニタの定期点検にともない足裏の測定部に保護カバーを設置しておりましたが、点検終了後に保護カバーを撤去していませんでした。そのため、当該モニタの使用を再開した 1 月 7 日午後 4 時 30 分頃から同日午後 5 時 30 分頃までの間、当該モニタを通過した 7 名の足裏部の測定が正しく行われていなかったことがわかりました。

なお、午後 5 時 30 分以降、当該モニタは使用を停止しております。

### 2. 今後の対応

今後、原因について詳細に調査します。

### 3. 安全性、外部への影響

当社では、汚染区域における作業は専用の汚染防護衣を着用して行い、作業後には脱衣し、退出する際には、作業衣、手袋および靴下などを脱いでから退出モニタにて測定する手順とな

っております。

また、当該モニタで測定を行った退出者については、足裏以外の手、頭および体幹部については正常に測定されていきました。

なお、退出モニタ9台の入口付近の代表ポイントにおける床面の汚染検査において放射性物質は検出されていないこと、ならびに本日、当該モニタ出入口の床面および保護カバー表面に放射性物質の付着がないことを確認したことから、足裏への放射性物質の付着はなかったものと考えております。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

**\* 1 サービス建屋**

中央制御室や原子炉等を設置している区域への人の出入りをチェックする建屋。

**\* 2 管理区域**

放射線による無用な被ばくを防止するため、また、放射性物質による放射能汚染の拡大防止をはかるため管理を必要とする区域。